

## 1-4-4 桜並木

本市内の五条川沿岸には約 1,400 本の桜がある。岩倉市北市境から幼川橋までは五条川の両岸に、また幼川橋より下流では本市内の右岸に桜並木がある。平成 2 年に財団法人日本さくらの会により「日本のさくら名所 100 選の地」に選ばれている。

五条川沿岸の桜並木は、古くは昭和 25 年頃から植樹されたソメイヨシノであり、比較的間隔が密に植えられている特徴がある。

初期のものは植樹から 60 年余り経っており、一般的にソメイヨシノの寿命は 60 年程度と言われているため、樹木の老衰が懸念されている。

岩倉五条川桜並木保存会では、平成 22 年に市内の五条川沿岸の桜 1,428 本を調査し、1 本 1 本の生育状態などを記した管理台帳を作成している。

この台帳の結果から、「生育の状態が良い」と判断された桜は、195 本であり、全体の 14%にとどまっている。残りの 8 割以上の桜は、伐採や枝切りなどの老衰への対策が必要となっている。

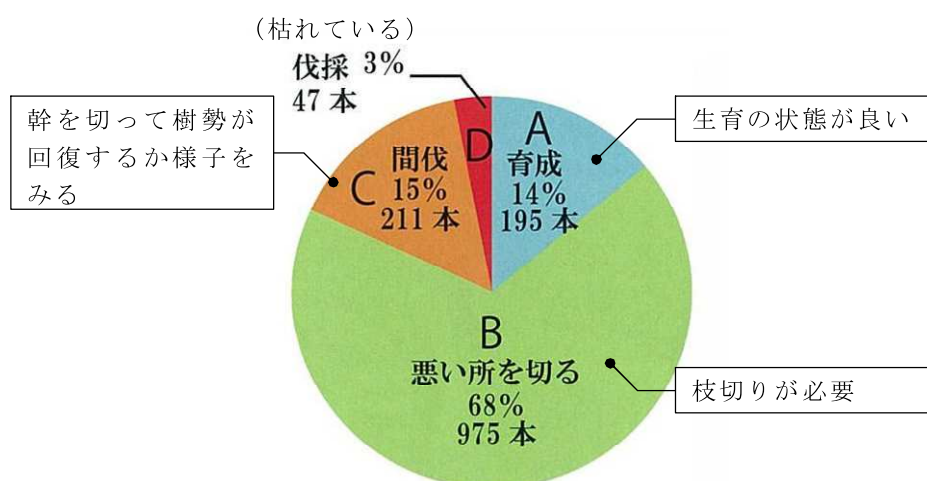


図 1-4-13 五条川沿岸の桜の調査結果

資料：財団法人日本さくらの会ホームページ、岩倉五条川桜並木保存会パンフレット



桜並木

## 1-4-5 動植物

### (1) 生物

#### ① 魚類

五条川でみられる主な魚類は、以下のとおりである。

全体的に、魚種は単一化してきており、市内の下流部においては以前と比べてメダカとカダヤシの生息数が逆転するなど、外来種が多くなっている傾向がある。

表 1-4-1 五条川の主な魚類

場所	名称
井上橋～八剣橋	コイ、フナ、オイカワ、カワムツ、カマツカ、アユ、ドジョウ、ヨシノボリ、メダカ、グッピー、 <u>ブルーギル</u>
平成橋～岩倉橋	コイ、ニゴイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、マルタウグイ、タナゴ、タモロコ、モツゴ、アユ、ウナギ、ニシキゴイ
一豊橋～幼川橋	ギンブナ、オイカワ、アユ、ナマズ、マナマズ、カワアナゴ
幼川橋～岩倉新橋	コイ、ニゴイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、カマツカ、アユ、ボラ、ライギョ、セイゴ、ドンコ、ハゼ、ナマズ、メダカ、 <u>ブラックバス</u> 、 <u>カダヤシ</u>

注) 下線は外来生物法に基づく特定外来生物

資料：「五条川魚類生息調査」平成 21 年度資料 平成 22 年 4 月発行 岩倉の水辺を守る会

#### ② 貝類、甲殻類

五条川に生息する貝類や甲殻類は、テナガエビ、カワエビ、タニシ、ドブガイに加えて、外来種のアメリカザリガニ、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）、サカマキガイなどが確認されている。

また、きれいな川に生息するといわれるマシジミが、市内上流部の用水支口で多く見られたため、五条川の水質が確実に良くなってきていると思われる。

資料：「五条川魚類生息調査」平成 21 年度資料 平成 22 年 4 月発行 岩倉の水辺を守る会

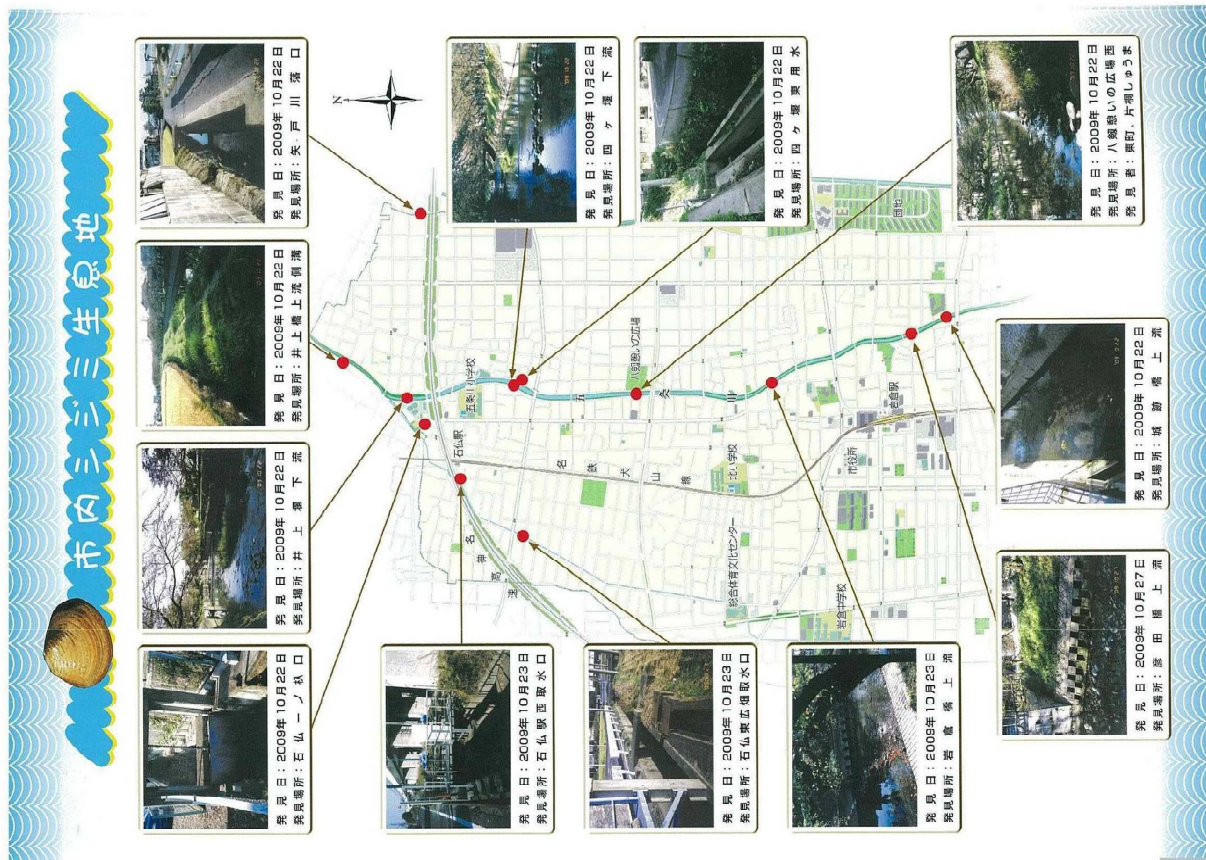
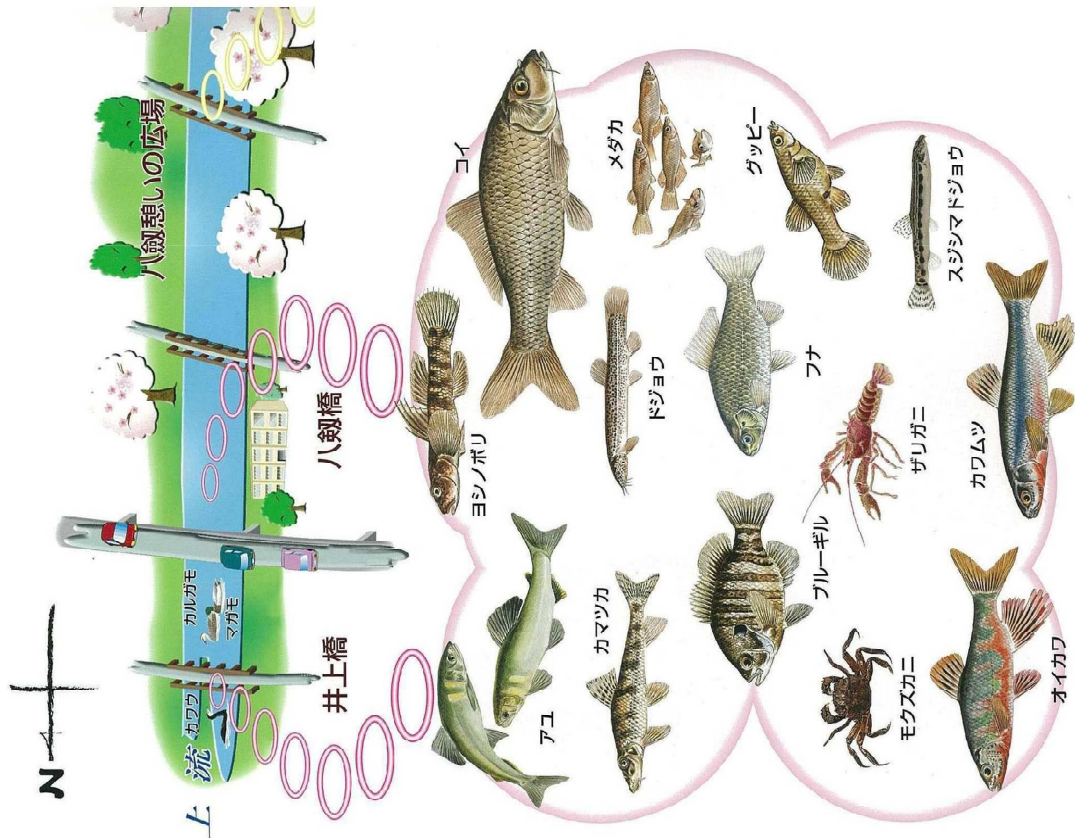


図 1-4-14 市内シジミ生息地と五条川の魚類（井上橋～八剣橋）

資料：「五条川魚類生息調査」平成 21 年度資料 平成 22 年 4 月発行 岩倉の水辺を守る会





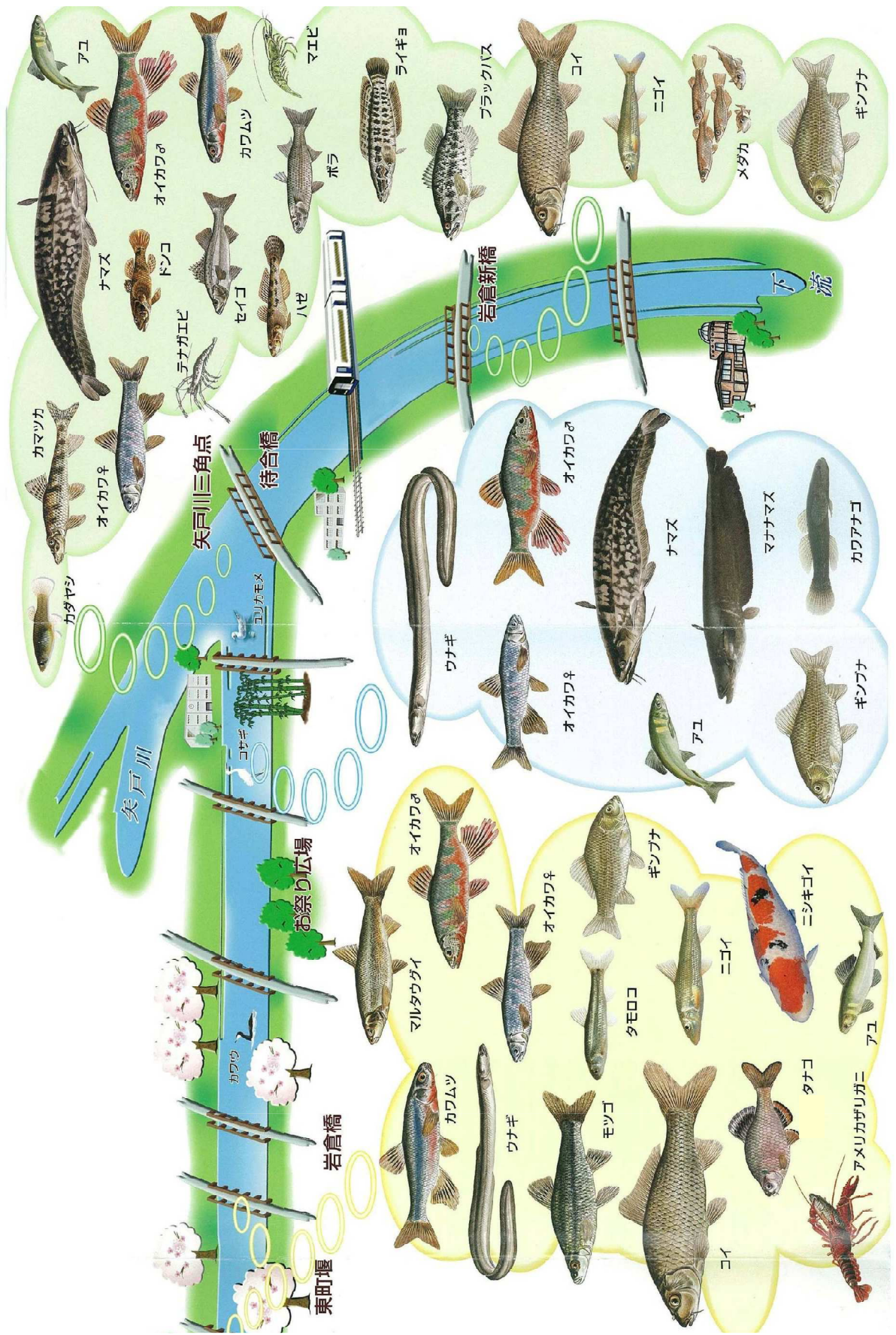


図 1-4-15 五条川の魚類（平成橋～岩倉新橋）

資料：「五条川魚類生息調査」平成 21 年度資料 平成 22 年 4 月発行 岩倉の水辺を守る会

### ③ その他

五条川で見られるその他の主な生物は、以下の通りである。

表 1-4-2 五条川で見られるその他の主な生物

分類	名称と概要
爬虫類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川に生息するカメの大部分は外来種であるミシシippアカミミガメである。（ペットとして飼育されていたものが捨てられ繁殖した）</li> <li>・クサガメもよくみられる。</li> <li>・絶滅が危惧されているニホンイシガメ、ニホンスッポンは確認できたが、極めて少数である。</li> </ul>
両生類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トノサマガエル、ナゴヤダルマガエル、アマガエル、<u>ウシガエル</u>などのカエルが確認されている。</li> <li>・トノサマガエルとナゴヤダルマガエルは個体数がかなり減少していると思われる。</li> </ul>
哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アブラコウモリが夕方になると虫を捕食するために現れる。</li> <li>・<u>ヌートリア</u>が川を泳ぐ姿が確認されている。（ヌートリアは南米原産の動物で、野生化した）</li> </ul>
鳥類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルガモ、セグロセキレイ、コサギ、ゴイサギ、ツバメ、ユリカモメなどが確認されている。</li> </ul>
昆虫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トンボ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギンヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネなどが生息している。</li> <li>・近年の傾向として、アキアカネやシオカラトンボは個体数が減少しているようである。</li> </ul> </li> <li>○チョウ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベニシジミ、ヤマトシジミ、ツマキチョウなどが生息している。</li> <li>・五条川堤防のカラシナで育っているツマキチョウは、一時期ほどの個体数は見られなくなったものの、春先に姿を見ることができる。</li> </ul> </li> <li>○セミ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニイニイゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシなどが生息している。</li> <li>・クマゼミは、近年、国内で東進・北進して生息域を拡大しており、本市でも個体数は増加している印象を受ける。</li> <li>・ニイニイゼミは都市部を中心に個体数が減少しているという報告もあるが、本市では五条川の桜並木をはじめとして、まだ姿がみられる。</li> </ul> </li> </ul>

注) 下線は外来生物法に基づく特定外来生物

資料：「岩倉の自然をたずねて」 平成4年3月発行 岩倉市、  
「岩倉で見られる生き物」 平成23年1月31日発行 岩倉ナチュラリストクラブ



クサガメ



シオカラトンボ



## (2) 植物

五条川で見られる主な植物は、以下の通りである。

表 1-4-3 五条川で見られる主な植物

季節	名称
春	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラが咲く。</li> <li>・春の始めには、オオイヌノフグリ、タンポポの花が咲く。</li> <li>・桜の木の下では、トウカイタンポポ、ハルジオン、ハコベ、ショカツサイ（ハナダイコン）、ニガナ、ムラサキカタバミ、イモカタバミ、ノゲシ、オニノゲシ、ハハコグサ、チチコグサの花が咲く。</li> <li>・イタドリ、ヨウシュヤマゴボウ、セイタカアワダチソウが芽を吹く。</li> <li>・土手にはカモガヤも多くみられる。</li> <li>・名鉄犬山線橋梁より下流ではマツバウンランやスイバが群落を作る。</li> </ul>
夏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒメジョオンの花が咲く。</li> <li>・イタドリ、クズが大きく枝を広げる。</li> </ul>
秋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土手にヒガンバナ、ヨメナ、ノコンギク、セイタカアワダチソウの花が咲く。</li> <li>・川岸にはキクイモの花が咲く。</li> <li>・草むらを歩くとオオオナモミ、アレチヌスビトハギ、アメリカセンダングサの種がズボンにつく。</li> </ul>
冬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく探すとタンポポ、ハコベ、ノミノフスマの花がみられる。</li> <li>・ハルジオン、ヒメジョオン、スイバなどのロゼット（根出葉）がみられる。</li> </ul>

資料：「岩倉の自然をたずねて」 平成4年3月発行 岩倉市



マツバウンラン



アレチヌスビトハギ



ヒメジョオン



ノミノフスマ

資料：「岩倉で見られる生き物」 平成23年1月31日発行 岩倉ナチュラリストクラブ、名古屋大学博物館ホームページほか

## 1-4-6 イベント、レクリエーション

### (1) 年間行事予定

平成 23 年度に行われた五条川に関する主な行事は、以下の通りである。その他にも、市民団体などにより多種多様なイベントや活動が行われている。

表 1-4-4 五条川に関する主な行事

月日	名称	内容
4月1日～10日	岩倉桜まつり	後述(2)参照
6月1日	水質検査	河川の水質検査を9地点行う
8月7日	水辺まつり	後述(2)参照
10月	河川流量調査	市内河川7か所において河川の流量や汚濁状況を調査する。
10月23日	親子魚釣り教室	後述(2)参照
11月5日	五条川下流域清掃	五条川流域行政区、各市民団体が清掃活動を行う。
12月7日	水質検査	河川の水質検査を9地点行う。
12月11日	胴吹き <sup>※1</sup> ・ひこばえ <sup>※2</sup> 切り	後述(2)参照
2月	河川流量調査	市内河川7か所において、流量及びBOD、SS、COD、DOの水質調査を行う。
3月4日	第1回いわくら市民健康マラソン	後述(2)参照
3月10日	クリーンアップ五条川2012	後述(2)参照

資料：市資料

※1 幹や枝の途中に芽が吹くこと。

※2 樹木の切り株や根元から伸びてくる新しい芽。萌芽とも呼ぶ。

## (2) まつりやイベントの内容

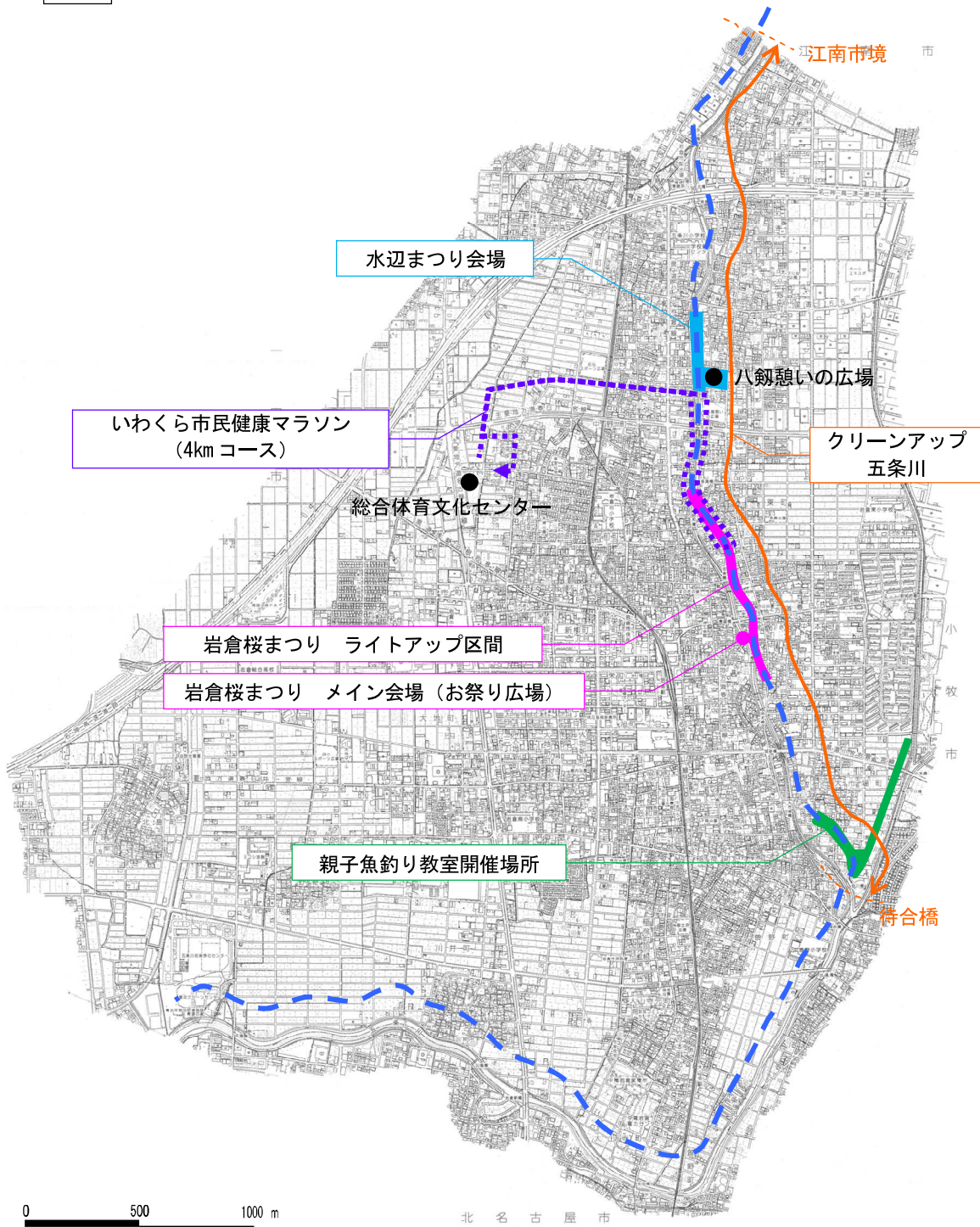
五条川に関するまつりやイベントの内容を以下に整理する。

表 1-4-5 五条川に関する主要行事

名称	内容	様子
岩倉桜まつり	毎年4月上旬に五条川河畔の明治橋から大市場橋までの間で開催される。 メイン会場となる下本町のお祭り広場を中心に山車巡行・からくり実演、のんぼり洗い実演、夜桜ライトアップ等、各種の催し物が行われる。	
水辺まつり	川遊びを通じて子どもたちにふるさとの五条川に親しみを持ってもらおうと岩倉市と市民団体「岩倉の水辺を守る会」が共催する親水イベント。 イカダ下り、アドベンチャーゾーン、ウォータースライダー、工作コーナー、自然環境ブース等が行われる。	
親子魚釣り教室	市民団体「岩倉の水辺を守る会」による親水イベント。	
胴吹き・ひこばえ切り	市民団体「岩倉五条川桜並木保存会」による、桜並木の保全・育成を目的として行う活動。	
いわくら市民健康マラソン	いわくら五条川マラソンに代わる大会として、平成23年度より開催された市民の健康増進を目的としたマラソン大会。 4km及び2kmの2コースがある。	
クリーンアップ五条川	市民団体「岩倉の水辺を守る会」が主催する市内全域の五条川で行われる清掃活動。	

資料：いわくら MAP&GUIDE、岩倉市緑の基本計画





注) 胴吹き・ひこばえ切りは五条川沿川全域で実施

資料：市資料

図 1-4-16 イベント開催位置図